

1. 学校名 対象 (学年、人数) 山ノ内町立山ノ内中学校 1 学年 6 8 名

2. 探究課題・活動実践の概要、ねらい、目標等

(1) 活動テーマ 山ノ内町の魅力の再発見と活性化に向けての課題を探る。

(2) 目 標 ・ ESD 活動について知る。 ・ 町の魅力の再発見と活性化に向けての課題を探る。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

多様性 (多種多様な現象が起きていること)

公平性 (一人ひとりを大切に)

相互性 (関わりあっている)

連携性 (互いに連携・協力すること)

有限性 (限りがある)

責任制 (責任を持って)

その他 ( )

②育成する資質・能力

批判的に考える力

他者と協力する力

未来像を予測して計画を立てる力

つながりを尊重する態度

多面的・総合的に考える力

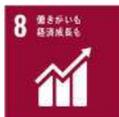
進んで参加する態度

コミュニケーションを行う力



外来種駆除体験

(4) 関連する SDGs



8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤を作ろう

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう

(5) 探究課題・活動実践の概要

【7 月志賀高原研修旅行の調査テーマ (一部)】

①地球温暖化と動物の絶滅の関係 ②再生可能エネルギーがどのように利用されているか

③志賀高原に生息する在来種について発信しよう ④絶滅危惧種を守るには

⑤ゴミの流出を防ぎ自然を守るには ⑥山ノ内の特産品を育てる生育環境を守るには

⑦山ノ内の特産品や観光地の魅力を知ってもらい山ノ内町を盛り上げよう

【山ノ内町の課題テーマ (10 月地域自慢調査を通して)】

①山ノ内ならではの土産が少ない(スイーツ等も含む) ②外国人への対応 ③温泉の発信

④温泉以外の魅力が少ない ⑤ゴミのポイ捨て等の観光マナー ⑥住宅街に来る動物対策

⑦ユネスコエコパークについて知られていない ⑧お客が少ない

⑨PRを充実させたい ⑩少子高齢化・従業員不足の対策 ⑪大型店が少ない

3. 流れ (指導計画の概略)

5 月…ESD 活動の目的や内容を学ぶ。志賀高原研修旅行の目標、日程及び活動内容を理解する。

6 月…研修旅行における調査テーマを決定する。ユネスコエコパークに関する事前学習を行う。

7 月…志賀高原研修旅行(7/11-12)→トレッキング、外来種駆除、染め物体験、温泉熱学習 等

8 月～9 月…志賀高原研修旅行の調査結果をパワーポイントにまとめ、学年内で共有する。

白樺祭 (文化祭) で 3 グループ (外来種、温泉熱、絶滅危惧種) が発表する。

10 月…移行地域 (主に温泉街) の歴史を学ぶ。地域自慢調査 (温泉街巡り、旅館インタビュー)

11 月～12 月…地域自慢調査の調査結果をまとめ、山ノ内町の魅力と課題を探る。

1 月…考えていきたい山ノ内町の課題ごとに班を編成し、解決策や問題点等を考え発表する。

4. 効果・反応・所感

・志賀高原研修旅行では、過去の先輩方の学習を土台にユネスコエコパークの特徴や現状を調査し、ユネスコエコパークを保有する山ノ内町の一員として自然を大切にしていこうと心をはたかすとともに、自然を維持・保全していくための人間のあり方を考えることができた。

・地域自慢調査では、地元の温泉街を ESD の視点から見ることで山ノ内町の課題をより自分事として捉えることができた。見つけた課題は他地域との比較を通して、より具体的なものにしていきたい。

5. 指導方法・体制の工夫 (協力者や資源)

①志賀高原ガイド組合 ②山ノ内町教育委員会生涯学習係文化財整理推進員 畔上さん 青木さん

③地元温泉旅館 (春蘭の宿さかえや、太陽館ヤマト屋)